

水稻除草剤

よあけ® ジャンボ

シクロピラニル.....2.0%

種類名／シクロピラニル粒剤
農林水産省登録／第25028号
毒性／普通物*
有効年限／3年
包装／(25g×10)×20

特 長

- 新規有効成分「シュタルク（一般名：シクロピラニル）」含有の1成分初期除草剤です。
- ノビエをはじめ、広葉やカヤツリグサ科等の幅広い雑草に高い効果と速効性を示します。
- 藻類やオモダカ、クログワイ等の多年生難防除雑草も抑えます。
- 代かき後～移植7日前や移植時の早いタイミングで使用可能です。

適用雑草と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	総使用回数*	使用方法	被害防止方法 
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類に よる表層はく離	植代後～ 移植7日前 又は 移植直後～ ノビエ1葉期 但し、 移植後30日 まで	小包装 (パック) 10個 (250g)	本剤 シクロピラニル剤 1回 2回	水田に 小包装(パック) のまま 投げ入れる	使用者 (調製・散布): 農業用マスク、 長ズボン・ 長袖の作業衣

使用にあたって

■使用上の注意

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するようご注意ください。ホタルイは1葉期まで、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、セリは再生始期まで、ヒルムシロ、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の使用適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のものまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前から発生始期（鞘葉抽出期）に有効なので、使用適期を失しないように使用してください。また、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 植代後から移植7日前までに使用する場合は、水田の代かき、均平はていねいに行い、浮遊物のワラくすなどのごみはできるだけ取り除いてください。使用後は少なくとも3～4日間は通常の湛水状態（湛水深5～6cm）を保ち、使用後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 使用に当っては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤使用后、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、使用後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないようにしてください。
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な葉害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。

- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 除草効果が低下するおそれがあるので、著しい降雨が予想される場合には使用を控えてください。
- 空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 本剤は、その殺草特性から、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意してください。
- 本剤使用後の田面水を他作物に灌水しないでください。

■生活環境動植物への注意

- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 眼に対して強い刺激性があります。
- 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、ぬれた手で触らないでください。
- 水溶性フィルムが破袋し眼に入った場合、水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けてください。眼の刺激が続く場合、医師の手当てを受けてください。

■貯蔵上の注意

- 水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにしてください。
- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手のとどかないなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2026年4月8日現在の登録内容に基づいています。